

サウンディング型市場調査の状況

（１）参加事業者数

- 参加事業者数：１５社（全て単独）
- 事業形態：デベロッパー８社、ゼネコン３社、その他４社

（２）主な提案・意見（R3.12時点）

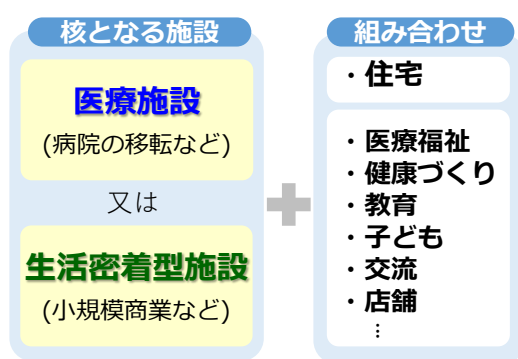
【活用手法】

- ・全社、跡地全体を購入して一体的に活用する提案（うち１件は定借も希望）

【土地利用（導入機能等）】

- ・都心部近郊のまとまった敷地を活かした、医療施設又は生活密着型施設を核とする複合施設の提案が多い
- ・複合用途としては、住宅が多く、医療福祉（病院、クリニック等）、健康づくり（フィットネス等）、教育（学校、専門学校等）、子ども（託児、病児保育等）交流（広場、交流ラウンジ等）、店舗などの提案があった

<土地利用イメージ>



【魅力向上に向けた取組み】

- ・脱炭素社会実現に資する、建物の省エネルギー化（住宅のZEH-M適合など）、太陽光発電設備や電気自動車用充電スタンドの設置などが検討できるとの意見が多い
- ・安全安心のまちづくりとして、感染症対策に資する非接触技術等の採用、敷地内（施設や広場等）で災害時の一時的な避難受入れなどが検討できるとの意見が多い
- ・良好な住環境の形成に向け、敷地外周道路沿いのゆとりある空間づくり、豊かで潤いある緑の創出などが検討できるとの意見が多い
- ・周辺住宅地への配慮については、圧迫感軽減の視点は重要であり、市の条件に合わせて計画を検討できるとの意見が多い